

在宅取組型(小学校)

学校名等	大野町立東小学校
実施日時	令和2年度 夏休み期間の5日間、10月の1週間
会場	各家庭
参加人数	37組の親子
学習課題(分野)	親子で元気にラジオ体操週間、親子でおひぎ読書週間
運営者の願い	コロナ禍の中だからこそ、親子の時間を大切にしたいと考え、在宅での取組を行った。家の中にいて、運動不足気味の子どもたちに、楽しくラジオ体操をしながら早起きの習慣をつけることや、読み聞かせで親子のふれあいを促すことを考え、これらの活動を企画した。

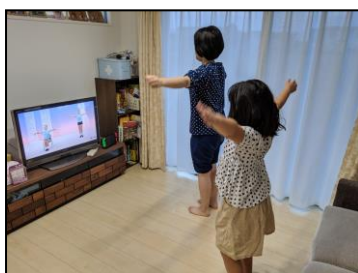
学習の内容

<取組の流れ>

- 7月 家庭教育学級開級式で在宅取組型の活動の説明
ラジオ体操取組カード・シールの配付
- 夏休み中 「親子で元気にラジオ体操週間」実践
- 8月 ラジオ体操取組カード回収
- 10月 「親子でおひぎ読書週間」の取組の説明と実践
- 11月 読書週間の取組カード回収

<取組の様子>

コロナ禍のため、地域でのラジオ体操は中止となりましたが、何とか早起きのリズムを崩さないようにしたいという思いから取組んだ。



【親子で元気にラジオ体操】>

<感想>

ラジオ体操週間

保護者

- ・ 家族みんなで楽しく取組めた。
- ・ 朝、ラジオ体操をすると一日すっきりとした気持ちになれた。
- ・ 早起きして一緒に体を動かすのは楽しかった。普段の夏休みは一緒に行かないのでいい体験になった。

児童

- ・ すごく眠かったけど、体操していると目が覚めた。
- ・ 運動できてよかった。
- ・ 朝は早く起きて疲れたけど、ラジオ体操をすると疲れなくなった。
- ・ 来年は友達と一緒にやりたい。



【親子でおひぎ読書】

学校で借りた本を自分で読むことが多くなった1年生だが、親子のふれあう機会にしたいと考え、取組んだ。

おひぎ読書週間

保護者

- ・ ぴったりとひっついて読むひとときが、甘えん坊で愛おしかった。
- ・ 自分で本が読めるようになり、読み聞かせの機会が少なくなりましたが、親子のふれあいになった。
- ・ 少しの時間でも向き合っ、1冊の本を読む大切さを改めて感じた。

児童

- ・ たくさん本が読めたので、よかった。
- ・ 読んでくれて、うれしくて楽しかったから、また一日一回は読んでほしい。
- ・ お母さんが声を変えて読んでいた。本当に怒ったみたいでワクワクした。



<在宅取組のよさを生かした活動内容>

- ◎ コロナ禍の今だからこそできる内容、さらに「おうち時間」を生かせる内容を考えた。
- ◎ こんな時だからこそ、親子で取り組むことのよさを味わってほしいと考え、取組を通して働きかけた。



<親子のふれあいを大切に活動>

- ◎ ラジオ体操は例年と違い、自宅でテレビ体操を見ながら取り組むことで、体操の手本を見ながら、親子のふれあいの場となった。
- ◎ 親子で一緒に活動することで、スキンシップやコミュニケーションの場となった。



<取組の成果>

- ◎ 16日間という短い夏休みに規則正しい生活を意識でき、思い出に残る親子活動になった。
- ◎ 子供の成長に気付くとともに、改めて子どもと向き合うことの大切さに気付ききっかけとなった。